



静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロー株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

地方創生にかかわる中小企業の役割

日本における「地方空港」と

「リージョナル航空」の

あるべき姿とは②

地方を結び、人々を結ぶ

23

Human Delight株式会社 代表取締役社長

野田 万起子 のだ まきこ

日本の空港を細分化すると、株式会社が設置・管理する空港4ヶ所、国土交通大臣が設置・管理する空港19ヶ所、地方公共団体が設置・管理する空港5ヶ所、拠点空港以外の地方管理空港54ヶ所と、日本には80を超える空港が存在することになります。株式会社は別として、国・地方公共団体が関与する空港は78ヶ所があり、その拠点は地方自治体やその地域の経済において大きな影響を醸し出しています。そのインフラを如何に地方創生に活かしていくか、今号では日本のリージョナル航空の抱える課題と、地方空港が自治体と連携して推進する具体的な事例を紹介していきたいと思えます。

日本のリージョナル航空の抱える課題

地方空港とリージョナル航空の役割の重要性は前号でもお話ししましたが、日本におけるリージョナル航空の歴史はまだ浅いと言えます。それでも2000年の航空法改正によって、従来は不定期航空事業の中に位置付けられていたリージョナル・コミューター航空事業が定期航空運送事業の中に組み込まれたことで日本のリージョナル航空も少しずつ歩み始めました。ただし、大手エアラインが諦めたような路線に就航し、それを維持していくことは並大抵なことではないと思います。

- ① 高い搭乗率の確保……採算を取るために年間65%~70%の搭乗率を確保する必要。
- ② 多路線小頻度運航に伴う問題……地方空港の運用時間は早めに終了することが多いため、あちこちの地方空港を飛び回るとイレギュラーな事態の



信州まつもと空港



- ③ パードストライクに伴う問題……人命にも関わるパードストライク（飛行機に鳥がぶつかるケース）は全てのエアラインが直面する課題だが、一日一便が発着する地方空港においては整備体制が整っていない。
 - ④ 地方空港毎の特性を踏まえた対応……飛行場の周辺で起こりやすい自然現象に関わる問題を、自治体や空港関係者が共有できる環境整備。
 - ⑤ 大きな公租公課負担……リージョナル航空・コミューター航空に対する燃料税の問題。
 - ⑥ 運航乗務員の問題……日本のパイロットの市場は狭い上に、LCCの需給バランスは大きく変動しやすい。この専門分野における若い人材の育成が必要と考える。
- など、以上は一部分ではありますが、様々な課題があることも確かであります。

就航先自治体との共同プロモーション

「地方と地方を結ぶ交流の懸け橋」となる地域航空サービスの提供は、地域間の交流促進が必要不可欠です。ここで、地域とリージョナル航空が一体となってプロモーションを行っている事例をご紹介します。

信州まつもと空港（松本空港）は日本一美しい空港とも言われています。雄大な北アルプス連峰を背景に春夏秋冬それぞれに美しい姿で、飛び立れば美ヶ原・霧ヶ峰・諏訪湖・南アルプスに囲まれた松本平の光景が見られます。また、日本で一番高い所にある空港としても有名ですが、自然茶

件の過酷な松本空港は高い運航技術が要求される厳しい空港の一つとも言えます。厳しい立地ですが、空港の周りにはサッカー球戯場をはじめ各種の運動場や散歩道があり多くの地元の方々が訪れるようになりました。松本空港からは、リージョナル航空が就航していますが、就航地域間の交流を促進する取り組みが活発に行われています。

例えば、福岡と札幌においては長野県物産展や旅客商談会が開催されている他、福岡市営地下鉄の車両で列車貸切広告を行い、信州観光と松本・福岡空港路線を同時にPRするアピールライナー事業も実施されました。また、松本空港とJR松本駅間はシャトルバスが運行されアクセス向上も図られています。これらの取り組みは、長野県や松本市、地元の信州まつもと空港利用促進協議会など、地域関係者の支援によって実施されています。運航されている機体は松本市から「松本観光大使」を受け松本市のマスコットキャラクターがマーキングされ「空飛ぶ観光大使」としての役割ができていくことも特徴の一つでしょう。

「地方空港」「リージョナル航空」「地方自治体」との連携

前述した松本空港の事例の様に、地域と地域、そして地域のインフラを繋げていくには様々な問題が生じます。しかしながら、リーダーシップを取る人がいれば、同じ志を実現するための仲間が集まります。大事なことは、リーダーの元に強い思いと行動力を持つ人が集まることです。一見国や自治体の事業に見えるかもしれませんが、まちを創っていくのは私たちであるという意識をもつて関わっていくにはありませんか。

先